

Newsletter

弘前大学男女共同参画推進室



男女共同参画推進室
Hirotsaki University

弘前大学男女共同参画推進室は今年10周年を迎えました。今号の「さんかくつうしん」は、10周年を記念して特別号としてお届けします。

10周年のその先へ

2009年10月1日に男女共同参画推進室が発足し本年で10周年を迎えました。この10年間で弘前大学における役員等の女性比率は0%から14.7%へ、女性教員比率は12.1%から19.3%へと向上し、ワークライフバランスの実現や女性比率を高める方策も充実しました。しかし、男女共同参画が達成できたと胸を張るには遠い数値です。令和の開始と同時に4代目を

拝命した初の男性室長として、この10年間の歩みを発展させ、室名から「推進」の文字が不要となる弘前大学の実現に向け、努力したいと考えています。引き続き皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

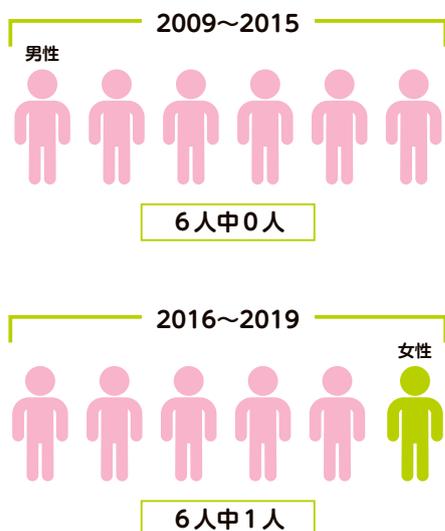
男女共同参画推進室長 農学生命科学部教授
藤崎 浩幸



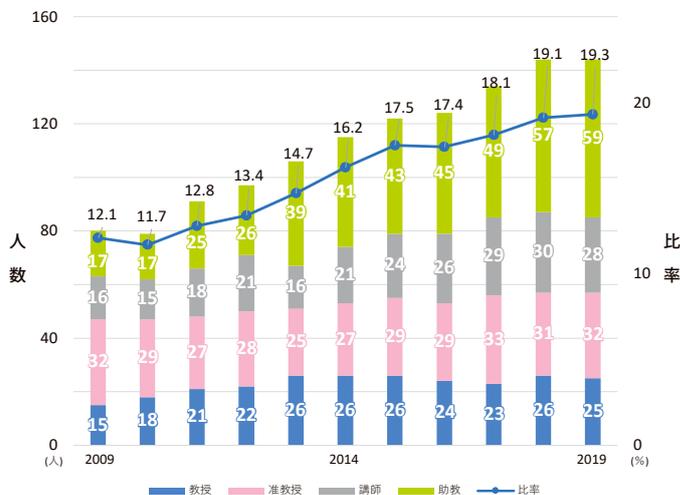
データでみる弘前大学男女共同参画推進の10年

10年間の女性役員（学長・理事）、女性教員、女性事務系管理職（課長相当以上）、女子学生（卒業・修了生）の状況は次のように変化してきました。（数値は各年度5月1日現在、国立大学協会「男女共同参画の推進状況に関する調査」への回答をもとに作成したものです。）

女性役員（学長・理事）



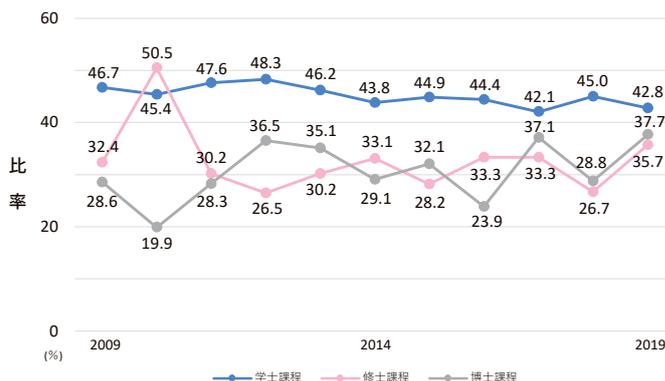
女性教員



女性事務系管理職（課長相当職以上）



女子学生（卒業・修了者）



取組でみる弘前大学男女共同参画推進の10年

弘前大学における男女共同参画は、さまざまな取組を通じて推進されてきました。これらの取組は、のべ200名近くの室員と男女共同参画推進室事務担当職員を中心に進められてきました。



10周年に寄せるメッセージ

弘前大学男女共同参画推進室創設10周年を迎えて

前学長 遠藤 正彦

弘前大学男女共同参画推進室創設10周年に当たり、本事業推進に立ち向かわれてこられたご関係の皆様には心からの敬意を表します。

我が国の女性の活躍は、産学官のさまざまな分野で、欧米に比べて少ないという現状から、現在男女共同参画事業が、喧しく唱えられている。この事業は、少子高齢化の進む中での、大学に課せられた国の施策としての一面がある。国の施策として進められたが、今陰りを見せている生涯教育や産学官連携事業の轍を踏まぬようにありたい。かつて我が国の婦人参政権運動に見られたように、男尊女卑の文化の排除を目指し、女性の意識の高揚がまず図らなければならない。その結果として女性自らの活躍の機運がもたらされるものと思われる。

「学びやすく働きやすい弘前大学」から多様な人々の共生社会へ

初代室長 人文社会科学部教授 杉山 祐子

当時の遠藤学長のもとに弘前大学男女共同参画推進室(以下、「推進室」)が設置されたのは平成21年です。各部署から委員に推薦された教員と職員が手探りで本学の課題を洗い出し、男女共同参画推進に必要な取組の大枠を作りました。女性だけのための男女共同参画という誤解を払拭し、誰もが学びやすく働きやすい環境を整えるための実践を進めました。

推進室10周年を迎え、本学における男女共同参画への意識はかなり進んだようです。学生や教職員の内発的な動きも目につくようになりました。これまでの推進室活動の蓄積とそれを支えた多くの方々に敬意を表します。さらに多様な人々が共生する社会の実現にむけた発信を期待します。

私の男女共同参画宣言

男女共同参画推進室10周年にあわせて、弘前大学の学生や教職員の皆さんに「私の男女共同参画宣言」を書いていただきました(11月30日まで撮影分を掲載しています)。このフォトキャンペーンは2020年3月(予定)まで展開します。写真は弘前大学男女共同参画推進室のTwitter@GEQuality_HUでご覧いただけます。

